

ウッドショックから合板ショックへ！

輸入材不足とコロナ禍での輸送コスト高騰に端を発したウッドショック。未だに先行きは不透明ですが、ここに来て合板や金物の値上げと納期遅れが続いています。

構造用合板はウッドショックにより原木の手当が厳しくなり、在庫量が少なくなりましたが、これまでは構造材の不足・高騰による着工遅れなどで何とか間に合っていました。しかし、住宅ローン減税の駆け込みによる需要増と構造材の供給増で着工が増えてくると、合板不足による、高騰と納期遅れが顕著になってきました。

合板の供給は原木不足・人手不足に加え、接着剤の高騰により増産が儘ならない状況で、合板ショックという言葉が聞かれるようになりました。特に接着剤は中国の電力不足による尿素の生産減とコンテナ不足や原油高など海運コストの高止まり、そして円安の要因が複雑に影響しているようです。また、生産増産については、働き方改革による残業規制、有給取得義務化（最低でも年5日取得）などによる工場の人手不足と高齢化で、生産性が上がらないようです。

工法を面材使用から根太使用による合板厚さ変更や5分板使用も提案されていますが、設計変更に手間がかかる等で進まない状況です。OSB や MDF、パーティクルボードも不足感が強く有効な代替提案とはなりえていないようです。

一方、比較的供給が安定しているのは環境配慮型の「J-GREEN」等、全層FSC杉を使った構造用合板も販売されています。こうした付加価値製品は丸太手当も安定しており、SDGs やカーボンニュートラルなどの時代の流れに沿っており、需要が増えると思われます。また、中国からの鋼材の輸入も滞り気味で建築金物全般も値上がりしていますが、ここに来てZ金物等も入荷が不安定で、価格も上がってきました。

構造材（特に集成材）はもちろん、合板（構造用、化粧）や金物等の品薄、高騰もしばらくは続きそうです。早目に手配した方が良さそうです。

【情報】

合法木材及び木質バイオマス認定に係る研修会が開催されます！

合法木材事業者認定などにも関係します。

なお、下記日程終了後に素材生産業者の方はCRL認証の研修会も行われます。

日時 12月20日（月） PM13:30～15:40

場所 鹿児島サンロイヤルホテル 2F 太陽の間

森林ボランティアの日、植樹活動が開催されます！

森林ボランティアグループが行っている活動です

日時 12月4日（土） AM10:00～12:30

場所 吹上浜 海浜公園

【定休日】

12月は5, 11, 12, 19, 26, 29, 30, 31日

1月は1, 2, 3, 4, 9, 16, 22, 23, 30日となります

宜しく申し上げます



南泉院落慶記念の布袋様(工場入口)